



## 阿南(県南)流

## SDGs×地域創生とは

横手博一

徳島県よろず支援拠点コーディネーター

中小、零細企業者のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。今月は横手コーディネーターが紹介します。

徳島県よろず支援拠点コーディネーターの横手博一です。

2020年4月号(No.441)および2021年2月号(No.451)にて県南における地域創生の取り組みを紹介しました。今回は引き続きの第3弾です。

今回は子供や高校生が主人公として活躍したSDGsをベースとする2つのイベントを、主催者側である「一般社団法人グランフィットネス阿南観光協会様」と大正大学地域創生ソリューションパートナーである「株式会社すだっち阿南様」から紹介させていただきます。

### <その1>

#### 阿南の豊かな自然を体感してSDGsを学ぶ！小学生わくわく企画「SUP&無人島体験ツアー」

徳島県阿南市で、小学生がSUPや無人島探検を楽しみながら自然環境の大切さを学ぶイベントが開催されました。主催したのは、阿南の自然を生かしたアクティビティで関係人口を呼び込もうと設立された一般社団法人グランフィットネス阿南観光協会と、国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」として実施しました。以下はそのアクティビティの様子です。

#### ①まず、ビーチクリーン&SUP体験から

会場は室戸阿南海岸国定公園の起点とも言える那賀川河口の淡島海岸で、R3.7/24と9/4の2日間で延べ21人の小学生が参加しました。最初にビーチクリーン活動としてペットボトルなどの漂着物を拾い集め、次に人気上昇中のSUPにチャレンジ。最初は恐る恐るボードにしがみついていた子どもたちでしたが、インストラクターの指導ですぐにスタンドアップして漕げるようになり、滑るように波間を進みます。海と一体になれるSUPが大好きになったようです。(阿南市では気軽にSUP体験ができます)

#### ②いよいよ無人島「青島」へ

淡島海岸沖合の島々は「福村磯」と呼ばれ、チヌ釣りのメッカとして有名です。今

回は渡船業を営む原田さんの船で一番沖に浮かぶ「青島」を目指します。初めて乗る漁船のスピードに歓声をあげながら、スリル満点の棧橋を渡って上陸。

小さなビーチでお弁当(エコ容器に入った市内のハンバーグ店特製オーガニック料理)を食べて、まずは磯遊び。箱メガネを手に水中を覗き込み、「魚がいる・・・」と大はしゃぎです。

2回目の9/4は貝類研究者である「大田直友」先生(阿南工業高等専門学校)に同行していただき、磯に張り付いたフジツボやイソギンチャクの名前や特徴を教えてくださいました。特に、堤防も何もない無人島だからこそ判別できる「海と陸の生き物が住む境界線」や「岩肌の変化でわかる地層の成り立ち」の話には子どもたちも興味津々でした。また、急斜面を登って青島のシンボルである灯台にたどり着き、海路を見守るその役目を学びました。

#### ③SDGsって知ってる？

港へ帰ったら最後は松林をバックにSDGsの勉強会です。講師は市内で生物多様性戦略やSDGsの推進に取り組む「坂本真理子」さんと、お馴染みの17のアイコンが並んだSDGsパネルを手に「持続可能な開発目標」の事例を順次説明していきます。

「海の豊かさを守ろう」では「マイクロプラスチックの連鎖」「温暖化で海藻がなくなって魚もどんどん減っている。お寿司が食べられなくなるかも・・・」など、写真やグラフでわかりやすく語りかけました。子どもたちは海亀のお腹から出てきたビニール袋に驚き、地球や自分たちの未来のためにどうするべきか真剣に考えていたようです。

#### ④まとめとして

今回、コロナ禍で思い切って遊べない子どもたちに、感染対策に留意しながら阿南の海の豊かさを体感してもらうことができました。一般社団法人グランフィットネス阿南観光協会では、阿南市や市内事業者とタイアップして海や川の清掃活動も行っています。今後も環境負荷を考慮した公共交通や自転車を活用したエコツアー





ズムを柱に、また世界で注目されつつあるアドベンチャーツーリズムなどの要素も取り入れて関係人口の創出拡大を目指します。そして子どもたちが誇りを持てる阿南市にしていけることが関係者一同の願いです。どうかご注目ください。

## ＜その2＞ 希少な生き物の恵みを味わってSDGsを学ぼう！市民が集うマルシェで「SDGsカフェ」を出店

2021年からの阿南市総合計画「咲かせよう夢・未来計画」の基本理念SDGsをもっと市民の皆さんに知ってもらいたい・そんな取組が阿南市と東京にある大正大学の連携事業で始まりました。もちろん、これまでも阿南市ではSDGs勉強会や実践活動も行われていますが、まずはもっと身近に感じてもらうと、R3.11/20、11/21に開催された「あなんまちマルシェ」に「SDGsカフェ」を出店しました。

「まちマルシェ」は商店街の店主たちが「FIND LOCAL 地域の再発見」を掲げて4年前から始めたイベントで駅前広場を中心に100店が軒を並べます。

以下は「SDGsカフェ」のイベントメニューです。

- ①市内の新野町で飼育されている希少な日本ミツバチの蜂蜜入り紅茶です。高校生ボランティアが客の好みに合わせて蜂蜜を入れて提供し、希少な生き物の恵みをしっかりと味わっていただきました。
  - ②生物多様性ホットスポットクイズは、生物多様なあなん戦略のリーダーである阿南高専の大田准教授が市内の7つの希少生物の特徴をユーモアたっぷりに解説。生き物の不思議さに驚きながらも、正解した子供たちは大はしゃぎでした。
  - ③リュックサック講座は、新野 outdoor& テントクラブの谷崎さんが、野外活動でリュックにつめる便利なグッズを紹介。そして、防災士として活躍する青木さんは、いざというときに役立つ防災リュックの中身を次から次に取り出して見せてくれました。
  - ④無人島キャンプ紹介では、YMCA 阿南国際海洋センターの菅田所長が海洋漂着物で作ったオブジェや体験の模様を説明。そのほか、SDGs目標17項目のパネル展示、SDGs認知度アンケートも実施しました。また、阿南市生物多様性ホットスポットの生き物を描いたコーヒークップやお皿の展示販売もありました。
- このように盛りだくさんのメニューを揃えた「SDGsカフェ」は好天にも恵まれ、多くの人が紅茶を味わい、ワークショップやアンケートにも参加していただきました。そして、影の立役者が、参加者にプレゼントした阿南の生き物とSDGsをイメージした「ごっつい



あなん」の缶バッジです。このバッジに描かれた阿南の生き物の原画展（イラストレーター 小部博正）とSDGs書籍コーナーが12/15から市役所で開催され、12/18には子供たちが生き物を描くワークショップもありました。

SDGsの17項目の目標は多岐に渡り、それぞれがとても奥深い意味を持っています。まずは根幹とも言える持続可能な環境の大切さを阿南市の生き物や自然を通して市民の方と共有することで、SDGsの輪が広がっていくことでしょう。アンケート結果でも「SDGsを知っている」「生活に取り入れたい」「プラスチックごみを減らしたい」と答えた人が80%以上を占め、意識の高まりを感じました。

さて「SDGsカフェ」ですが、来年はさらにバージョンアップしようと「蜂蜜紅茶」を飲みながら、関係者一同、決意を新たにしています。乞うご期待です。

### 取材の終りに

今回取材にご協力いただくと共に、事例をご紹介します。

○一般社団法人グランフィットネス 阿南観光協会 様

○株式会社すだち阿南 様  
お忙しい中、本当にありがとうございました。阿南(県南)には、すばらしい自然という資源とそれに気づき地域活性化につなげ盛り上げていこうとする人材がたくさんいらっしゃることを再確認いたしました。

今回は阿南(県南)におけるSUPにフォーカスした地域創生を取り上げました。現在進行形ではSUPアクティビティの多様化はもちろんのこと、ポタリング(目的地を特に定めることなく自転車散歩のようにゆったり走ること)のアクティビティ開発が進んでいるようです。阿南(県南)のワクワクは続きます。

### よろず支援拠点から

よろず支援拠点は創業相談や経営相談・各種補助金でかゆいところに手が届く相談を心がけております。また、「南部サテライト」については、地域に根差したサテライトとして、地域の活性化にはなくてはならない存在と位置付けています。よろず支援拠点の持つ機動的な相談メソッドで、様々な経営課題



解決に尽力して参ります。引き続き、よろず支援拠点をご活用ください。

### ○南部サテライト

場 所：南部総合県民局阿南庁舎 3F  
開催日：毎月第2・第3水曜日

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

### 徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8  
徳島経済産業会館2階

よろずにGoー

電話 **088-676-4625**

HP <https://yorozu-tokushima.jp/>

受付時間 【平日】9:00~17:45  
【休日相談会】●毎週日曜日



10:00~17:00  
徳島駅前ポッポ街  
●第1・第3土曜日  
10:15~17:00  
アミコビル9F

(最新情報を確認して下さい)

新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を設置しております。相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。